



岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和8年9月29日(火) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
図書館	サービス課 郷土・地図情報係	西村	代表 058-275-5111 内線 306 FAX 058-275-5115

所蔵資料展示「『大正の広重』^{よしだはつさぶろう}吉田初三郎が描いた^{ちようかんず}岐阜県内鳥瞰図」展を開催します

岐阜県図書館は約16万点の地図及び地図関連書籍等を所蔵し、日本有数の地図の図書館として「地図の館」とも呼称されています。その所蔵資料を広く知っていただくために、定期的に地図展を開催しています。

今回は、「大正の広重」と呼ばれ、大正から昭和にかけて数多くの鳥瞰図を描いた吉田初三郎の作品の中から、「ながら川の鵜飼」や「美濃郡上八幡」など岐阜県内の観光や都市などを描いた鳥瞰図を下記のとおり展示します。

記

- 1 期 間 令和8年9月30日(水)～10月29日(木)
展示時間 平日 9:00～20:00
土日祝日 9:00～18:00
会期中の休館日 10月5日(月)・13日(火)・19日(月)・26日(月)

- 2 場 所 岐阜県図書館 1階 楽書交流サロン(岐阜市宇佐4-2-1)

- 3 入場料 無料

4 主な展示作品

鳥瞰図(11点)

- ・「ながら川の鵜飼」
- ・「美濃郡上八幡」
- ・「陶都・多治見を中心とする名所交通鳥瞰図」

他に、笠松町や美濃加茂市、大同電力、名鉄電車等を扱った鳥瞰図を展示します。

絵はがき(2シリーズ10点)

- ・「岐阜名所御絵はがき」(「金華山」「柳ヶ瀬の夜景」他)
- ・「揖斐名所絵はがき」(「揖斐峡」「揖斐祭」他)

【鳥瞰図】

人が鳥となって大空から地上を斜めに広く見たように描く地図（絵図）のことで、俯瞰図ともいわれ、パノラマ図もその種類に入ります。そして、近代日本の代表的鳥瞰図製作者の一人が吉田初三郎です。

【吉田初三郎】

吉田初三郎（1884-1955）は京都に生まれ、絵を描くことが好きで、友禅図案絵師の家に奉公しました。25歳の時に京都の関西美術院で学び、院長の鹿子木孟郎（かのこぎたけしろう）からポスターや壁画、広告図案を描く大衆画家への道を勧められます。初三郎が鳥瞰図絵師としての道を進むきっかけとなったのは、29歳の時作製した「京阪電車御案内」が当時の皇太子（後の昭和天皇）に称賛されたことです。

大正時代には、鉄道網の発達と「大正デモクラシー」による自由な気風を背景にした旅行ブームが盛んとなり、鉄道会社や海運会社、新聞社や民間企業、行政機関等のスポンサーが初三郎への鳥瞰図製作を依頼するようになりました。そして、作品は生涯で1,600点以上といわれ、その範囲は日本全国はもとより台湾や旧満州にまで及び、スポンサーは岐阜県内にもいました。

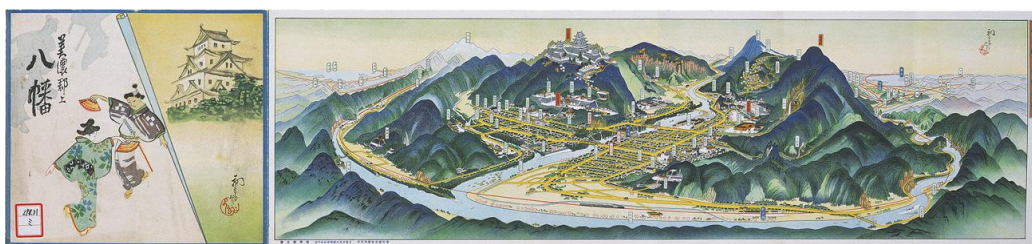
初三郎が「大正の広重」と呼ばれるのは、歌川広重が数々の浮世絵による「東都名所」のシリーズや「東海道五十三次」等の風景画を描いたことと結び付けたためと考えられます。

【岐阜県図書館所蔵の吉田初三郎鳥瞰図】

北海道から九州、台湾・中国大陆まで約200点を所蔵しています。



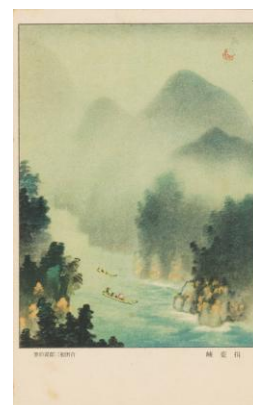
「ながら川の鵜飼」



「美濃郡上八幡」



「柳ヶ瀬の夜景」



「揖斐峡」